

科目名	ものづくり実習 4								年度	2025
英語科目名	Fabrication Practice 4								学期	後期
学科・学年	建築学科 2 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習	
担当教員	丸山 尚子	教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築設計			
【科目の目的】 ・ 公共建築物に合う家具をデザインし、制作する										
【科目の概要】 多くの人々が使う公共建築物の家具をデザインし制作を行う。人体系の寸法を大切に作品の強度等も考慮に入れてデザインを行う。										
【到達目標】 A. 家具の置かれる場所は使い方が適切である B. デザインや強度が耐久性に富んでいる										
【授業の注意点】 評価はルーブリックにもとづいて行い、指導教員等により講評会において評価を行う。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル 3 優れている		レベル 2 ふつう			レベル 1 要努力				
到達目標 A	家具の置かれる場所は 使い方が適切である		家具の置かれる場所は 使い方が適切である			家具の置かれる場所は 使い方が適切である				
到達目標 B	デザインや強度が耐久 性に富んでいる		デザインや強度が耐久 性に富んでいる			デザインや強度が耐久 性に富んでいる				
【教科書】 配布資料による										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】 成果品等で評価する										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

